

抗議文

在本邦アメリカ合衆国大使館

臨時代理大使

カート・トン 閣下

貴国が、ニューメキシコ州サンディア国立研究所において、今年7月から9月に、「Zマシン」を使用した核性能実験を実施していたとの情報に接しました。

貴国の度重なる核実験の実施は、今後も核兵器を持ち続ける意思を表したものであり断じて許すことはできません。

オバマ大統領は、2009年4月にチェコのプラハで「核兵器のない世界」を目指すと演説され、今年6月にはドイツのベルリンで核軍縮の方針を明らかにされました。本来なら貴国自ら核軍縮の模範となるよう先導すべきであるにも拘わらず、実験を繰り返していることに憤りの念を禁じ得ません。

今後、実際に原爆を体験した被爆者の辛く悲しい体験や、平和への思いを深く理解していただき、兵器廃絶を願う世界の人々の期待を実現するために、今後、計画されている核実験をすべて中止するとともに、その主導的役割を果たされることを念願してやみません。

今回の貴国の核実験の実施に対し、非核平和都市宣言自治体として厳重に抗議します。そして茨木市民を代表して、一日も早い核兵器廃絶の実現に向けて努力されるよう強く求めますので、その旨を、本国へ伝達されますようお願いいたします。

2013年10月31日

大阪府茨木市長 木本保平

